

京都市立檜原小学校 平成27年度 2月評価号

檜原小学校だより

平成28年2月5日
京都市立檜原小学校
校長 加藤 由美子

<http://www.educity.kyoto.jp/hp/katagihara-s/>

ホームページを更新中です。子どもたちの様子をぜひご覧ください。
右のQRコードから携帯でホームページにアクセスできます。



児童アンケートから(12月学校評価)



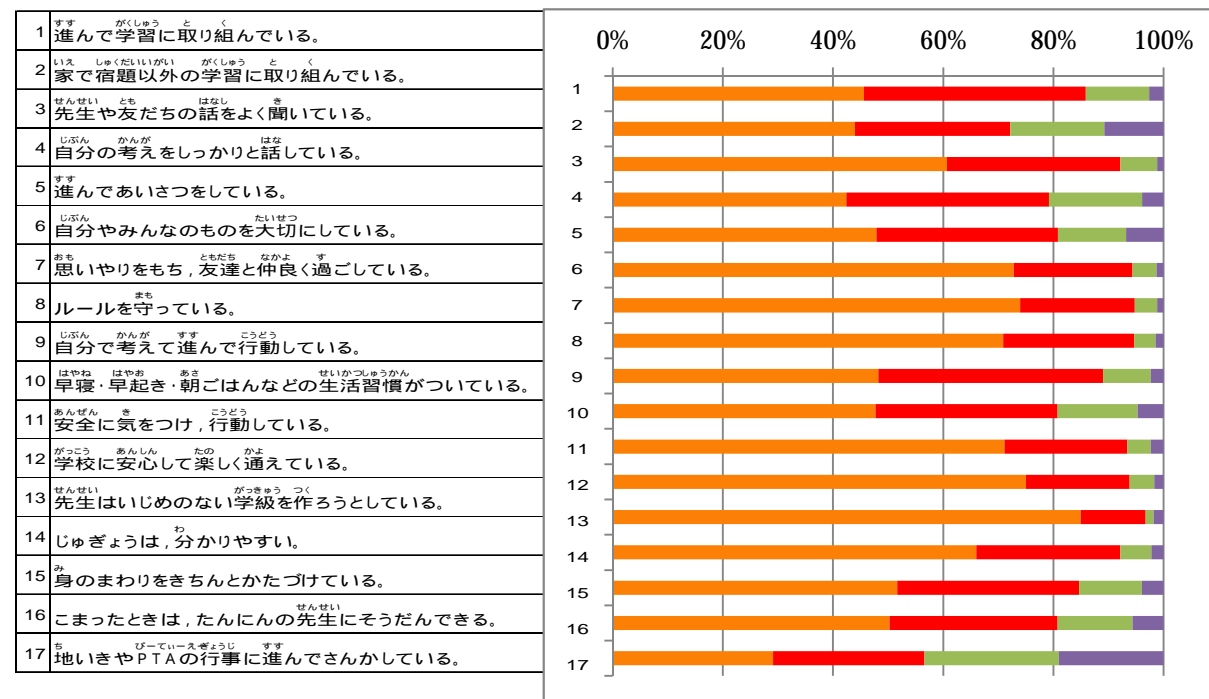
あてはまる

あまりあてはまらない

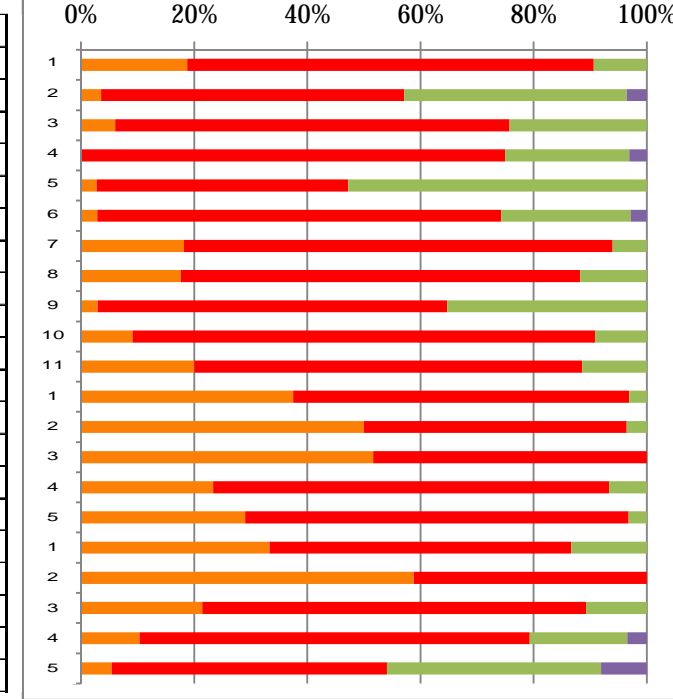
少しあてはまる

まったくあてはまらない

教職員アンケートから(12月学校評価)



子どもの様子	1	進んで学習に取り組んでいる。
	2	家で宿題以外の学習に取り組んでいる。
	3	先生や友だちの話をよく聞いている。
	4	自分の考えをしっかりと話している。
	5	進んであいさつをしている。
	6	自分やみんなのものを大切にしている。
	7	思いやりをもち、友達と仲良く過ごしている。
	8	ルールを守っている。
	9	自分で考えて進んで行動している。
	10	早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣がついている。
	11	安全に気をつけ、行動している。
学校運営	1	学校教育目標「心豊かで、自ら求め 学び合う 檜原の子」の実現に努めている。
	2	子どもが安心して楽しく通える学校であるような学級づくりをしている。
	3	一人一人の人権を大切にした教育を進めている。
	4	子どもにとって分かりやすい授業を行っている。
	5	学校や学級の環境整備(整理整頓や清掃など)に努めている。
保護者・地域との連携	1	ホームページや学級だより、家庭訪問などで、学級や子どもの様子を保護者に伝えている。
	2	来校時に対して、ていねいに応対している。
	3	保護者は気になることがあれば、気軽に相談してこられる。
	4	保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加しやすいように工夫している。
	5	地域行事やPTA行事に参加している。



「進んで学習に取り組んでいる」に「よくあてはまる」と答えた児童は46%、「あてはまる」も合わせると87%にのぼり良好な結果でした。しかし、「あてはまらない」や「まったくあてはまらない」と答えた児童が15%ほどあり、自分で見つける楽しさやできた喜びを感じることで意欲付けが一人一人に届くよう取組を進めていくことが必要です。

「ルールを守っている」や「学校に安心して楽しく通えている」と回答した児童は90%以上にものほり、学校やクラスでの生活が充実していることを示しています。しかも前回(7月調べ)より10ポイントほど上昇していることで学校生活にも慣れ、クラスでの生活が楽しいものになっていることが分かりました。

「早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣がついているか」に関しては、前回(7月)より3ポイントほど下回っているのは季節がらを表しているのかと思えますが、学習の前に生活習慣を整えることはとても大切なことなので、毎日の生活習慣が規則正しくなるよう働きかけていきたいと思います。

「授業は分かりやすい」かについては、93%が「分かりやすい」と答えています。しかし、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の児童を合わせると7%います。これらの児童にどのような手立てを打ち、どんな取組を展開していくかが私達教職員の課題です。

教職員のアンケート結果から、課題となる項目がいくつか挙げられます。児童アンケートの結果と並べてみると大きく差があることが分かります。これは児童ができていると思っていても、教職員はできているとは言えないと判断していると考えられます。

「進んであいさつをしている」については、「よくあてはまる」と回答している教職員はあまりなく、「あまりあてはまらない」が半数以上を占めています。進んであいさつする児童が少ないと感じている結果となりました。保護者アンケートからも「あいさつがあまりできていない」という意見が多くありました。学校でも家庭でもあいさつの大切さを伝え、学校でも地域でも進んであいさつできる子を育てたいと思います。

「自分の考えをしっかりと話している」や「自分で考えて進んで行動している」が課題と考えている教職員は多く、学校全体で取り組んでいるところです。学級会や各教科でも自分の考えをもち、みんなに伝えられる児童を育てるにはどんな手立てがあるかについて研究を積み重ねています。

「一人一人の人権を大切にした教育を進めている」や「学校や学級の環境設備に努めている」は、前回に比べ「あてはまる」が多くなっていますので、前期に比べ後期には整った環境で学習が進められていることが分かります。

